



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース

— 介護ウェーブの “Big Wave” をおこそう! —

【介護ウェーブ推進本部 本部長アピール】

介護改善を求める「介護ウェーブ」を全国に大きく広げていきましょう。

— 8月末までに20万筆の署名をあつめ、国会に届けよう! —

いま、地域の介護・福祉が大きく揺らいでいます。介護事業所は、介護報酬の連続引き下げのもとで深刻な経営難、人手不足にみまわれ、事業を縮小・廃止せざるを得ない事態すら生じています。介護職の養成施設では相次ぐ定員割れで、閉校を余儀なくされる学校も出始めています。高齢者の介護を支えるはずの介護保険は、負担増や利用の抑制によって、逆に様々な困難を利用者にもたらしています。今後いっそう高齢化がすすむにも関わらず、このままでは介護保険制度そのものが破綻しかねない状況です。もはや一刻も放置できません。



こうした中、介護労働者の確保・処遇改善に関する法案が衆参両院で全会一致で可決されました。具体性に乏しい内容ですが、国会が一致して確保・処遇改善の必要性を掲げたことは重要であり、これからの運動の足がかりとなる成果です。また、老健協会が短期間で166万筆の緊急改善署名を集めたり、5月の「福祉関係者共同フォーラム」には介護・福祉労働者、経営者ふくめて700人が集い、各地で運動を起こしていくことが確認されるなど、2009年改定に向けた様ざまなとりくみが広がり始めています。

しかし一方、財務省は、軽度者（要介護2以下）を制度の対象外にしたり、利用料を引き上げるなどの「改革」案を打ち出しています。現状の矛盾を解決するどころか、利用者・事業者双方にいっそうの困難を押しつける方向です。介護保険のさらなる改悪は絶対に許されません。

2009年改定をひかえ、介護改善のたたかいは正念場をむかえています。8月は国の来年度予算に向けた概算要求の時期です。推進本部では、当面の「介護ウェーブ」の重点的なとりくみとして、改善署名、介護1000事例と要求の集約運動を提起しました。

署名は8月末までに20万筆を集めることを目標としています。現在、ケアプランが全国で7万件、居宅サービスの利用者は延べ16万人を超え、施設に入所している方が5000人にのぼります。まずここから働きかけを始め、ひとまわりふたまわりと広げていきましょう。昨年来とりくんできた「緊急改善署名」には500事業所から賛同が寄せられました。私たちが思いきって足を踏み出せば、大きく広がる素地が地域にあります。あらゆる機会を通して、署名を広げ、介護改善を求める声を国に届けましょう。

介護保険の問題点を明らかにする1000事例、事業所・職場の制度改善要求を集約します。国や自治体への要請行動に活かし、マスコミを通して社会的にもアピールしていきましょう。この間、東京、神奈川、北海道、松本、九州沖縄地協などで、幅広い層に参加を呼びかけた介護シンポジウムが開催・計画されています。創意あふれるとりくみを各地で追求しましょう。

「情勢は運動で変えられる！」—今こそ、介護事業所とそこで働く職員のみなさんの出番です。現在、1万5000人の職員が介護・福祉分野で働いています。すべての介護職員が「介護ウェーブ」に参加し、共同組織の方々とも力を合わせ、介護改善を求める声と共同を、地域に、そして全国に、大きくひろげていきましょう。

（介護ウェーブ推進本部長 田中真治）

ドクター・ナースウェブと共同した 宣伝・署名行動が行われる(石川)

5月17日に金沢駅前、「ドクター&ナース&ケア(介護)ウェブ宣伝・署名行動」が100名を超える医療・介護職員の参加で行われました。



90分間の宣伝で5種類の署名に1400筆が集まりました。

特養やすらぎホームから、青年職員を中心に6名が参加し、昨年入職した介護福祉士がハンドマイクデビューを果たしました。客待ちで停車しているタクシーの運転手にも積極的に署名の訴えを行いました。(写真)

— 事務局短信 —

STOPI! 介護崩壊 「介護ウェブHP」近日公開!

全国の皆さんから「毎日アクセスしてもらいたい」をコンセプトに、急ピッチで開設準備を行っています。主な項目では、当面の取り組みでお知らせしました『1000事例の取り組み』『介護制度に対する改善要求・意見』をHPや携帯電話から入力できるようにします。職場で事例を通して介護保険制度の改善要求をまとめ、国に対して現場から怒りの声を上げていきましょう!

STOPI! 介護崩壊 「介護ウェブ方針」(PowerPoint)の活用を!

全日本民医連HP(会員のページ>介護・福祉部)に掲載しました。近日中に職場学習(20分程度)で活用できるPowerPointも掲載します。県連、法人、職場単位で積極的な学習活動を行いましょう!

STOPI! 介護崩壊 全国の取り組みをお寄せください!

宣伝行動や学習会の模様など、介護ウェブの取り組みをお寄せください。

全国の取り組み

○**中国・四国地協** / 5月21日(水)に地協介護福祉委員会で、介護ウェブ方針の学習と今後の取り組みの意思統一が行われました。

○**北関東甲信越地協、南関東茨城地協** / 5月28日(水)に、2地協合同の介護福祉委員会で、介護ウェブの方針を具体化します。

○**北海道** / 5月30日(日)と7月13日(日)に、札幌大通り公園で宣伝・署名行動を準備中。

○**長野** / 中信勤医協と友の会の共同した実行委員会主催で、6月21日(土)13:30~(妙・アルプス会議室)に、「介護の社会化をめざして、介護保険制度見直そう!いま、介護保険のあり方を考えるシンポジウム」を開催します。合津文雄氏(長野大学教授)の記念講演、小林満氏(北アルプス広域連合・介護庶務係長)や坂口巧氏(松川村地域包括支援センター)などによるシンポジウムが検討されています。

○**富山** / 富山民医連主催で、6月29日(日)に、「介護フォーラム企画(仮)」を準備中。

○**九州・沖縄地協** / 地協主催で、7月6日(日)13:00~17:00(福岡ファッションビル)に、「介護崩壊ストップ!介護改善をめざす九州・沖縄介護ウェブのつどい」を開催します。服部万里子氏(立教大学教授)から、介護保険制度の問題点と改善に向けての課題についての記念講演や、在宅関係の事業所や施設の職員、介護福祉士養成校の方などによるシンポジウムが検討されています。

昨年来とりくんできました「介護保険の緊急改善アピール賛同署名・意見」が、キャリアブレインで報道されました。以下、HPに掲載されています。

(キャリアブレインHP <http://www.cabrain.net/news/>)

お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp